

事業カルテ (元年度決算)

オリンピック・パラリンピック推進室

10-06-01-935

東京オリンピック・パラリンピック推進事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	—	—	—	—	—	
関連する個別計画	—						
関連する報告書など	—						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成28年2月「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針」を策定し、東京2020大会を契機として、本市の「暮らすまち」としての魅力に加え、「訪れるまち」としての魅力を倍増させ、発信することにより、持続的に発展できる地域を形成し、多くの人が行きたい・見たい・住みたいと思える多摩市の創造を目指すことを取組の基本的な方向と定め、全庁的に取組を進めてきた。 令和2年3月新型コロナウイルスの世界的大流行の影響による東京2020大会の延期決定など情勢変化をふまえ、基本的な方向は踏襲しつつ、新たに重点的に取り組むべき目標を定め事業を推進する。						

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成29年度
事業の目的、 令和元年度の目標	2020年東京オリンピック・パラリンピック(以下「東京2020大会」という。)に向けて、市民一人ひとりが関わり、楽しみ、心に刻み、将来につなげるレガシーを創出する。令和元年度は、自転車競技ロードレース及びテストイベントの開催に向けた準備、事前キャンプの誘致を進めるとともに、国士舘大学や市内6大学、都内コース8自治体など、多様な主体との連携もしながら、庁内外一体となって気運醸成と東京2020大会の開催準備を行う。	
予算の執行方法	国士舘大学との連携協定に基づく事業(委託料)、事前キャンプ視察対応(委託料)、事前キャンプ誘致交渉(委託料)、自転車競技ロードレース事業(消耗品費・印刷製本費・修繕料・ポスター制作委託料・会場使用料・備品購入費・8市合同連絡会負担金)、大学連携協議会事業(補助金)、ゆかりの選手応援プロジェクト(委託料)、東京2020大会に向けた気運醸成を図るための啓発物品購入(消耗品費)、執務室移転に伴う諸経費(電話料・保険料・室名表示カッティングシート作製貼付委託料・複合機借上料・自動車借上料・駐車場使用料・駐輪場使用料)など。	
事業の成果	国士舘大学との連携協定に基づく「トップアスリートを招いた講演会」ではパラスポーツへの理解、「楽しく！美しい！ラジオ体操教室」ではスポーツや健康づくりへの興味・関心を高めることができた。また、3月にバルテノン多摩で開催を予定していた講演会は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。事前キャンプ誘致では、アイスランドオリンピック・パラリンピック両選手団の受入れで合意し、併せて国からホストタウンの登録を受け、のぼり旗、横断幕、懸垂幕、ポスターを作製して広く周知を図った。東京2020オリンピック自転車競技ロードのテストイベントでは、市民や大学生の参画機会を創出するとともに、課題の抽出を行い組織委員会との共有を図った。また都内コース8自治体で自転車及び多摩地域のPR映像を作成、YouTubeにて動画を公開、イベントの開催等を通じて気運醸成を図った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	6,260千円	7,764千円	21,097千円	
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	22,462千円	36,164千円	81,989千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	2,271千円	1,803千円	2,038千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	6,975千円
	一般財源	0千円	0千円	3,989千円	5,961千円	12,084千円
間接経費	職員人件費	0千円	0千円	15,863千円	27,512千円	58,704千円
	《従事人員数》	0.00人	0.00人	1.80人	3.28人	6.84人
	その他の人件費	0千円	0千円	339千円	888千円	2,188千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	東京2020大会の気運醸成に資する各種イベント・講演会等の実施	目標	4回	5回	11回
		結果	4回	4回	—
成果指標 (アウトカム)	東京2020大会の気運醸成に資する各種イベント・講演会の合計来場者数	目標	1,000人	1,450人	7,026人
		結果	1,036人	960人	—

特記事項

イベント・講演会等の実施回数等については、推進室として実施していくもので指標の設定を行った。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の ウ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源 一般		
N	N	N	ウ	新型コロナウイルスの世界的大流行の影響により東京2020大会の延期が決定されるなどの情勢変化をふまえ、基本的な方向は踏襲しつつ、新たに重点的に取り組むべき目標を定め事業を推進する。

<東京オリンピック・パラリンピック推進事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 自転車競技ロードレース事業

平成30年8月9日に東京2020オリンピック競技大会自転車競技ロード（以下「自転車競技ロード」という。）のコース発表に伴い、以下の3事業を実施。

- ① 令和元年7月21日（日）に開催される自転車競技ロードのテストイベント「READY STEADY TOKYO-自転車競技（ロード）」（以下「テストイベント」という。）開催に伴い、大規模な交通規制を実施するため、広く市民に周知し生活への影響を極力低減させるためテストイベント交通規制周知ポスターを制作し配布した。
- ② 自転車競技ロード及びテストイベント開催に伴い、278名のコースサポーター（ボランティア）を募集し、令和元年7月21日のテストイベント当日には観客とコースサポーターを見分ける視認性の観点や、コースサポーター活動の報償としてTシャツを作製し配付した。また、コースサポーターの内100名は「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組に関する連携協定」を締結している市内6大学の学生に参加していただき学生の参画機会を創出した。
- ③ 自転車競技ロードの開催を契機とするスポーツ振興や観光振興など多摩地域全体の振興を目的として行う事業を広域的に連携して実施するため、東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会を設置した。
令和元年度に実施した8市連携事業は多摩地域全体の振興に加え、国内で認知度の低い自転車競技を知っていただくために、プロの自転車競技団体（Team UKYO）協力のもと、自転車競技のPRやコースを紹介する映像を制作し、8市の理事者と大会組織委員会自転車競技運営部の片山右京スポーツマネージャーに登壇いただき映像のプレス向け紹介イベントを開催した。またYouTubeで公開の他、モニターのある各市公共施設や気運醸成イベント等で放映した。

年度	項目	決算額（円）
令和元年度	自転車ロードレーステストイベント交通規制周知ポスター制作業務委託	101,412
	自転車競技ロードレースコースサポーターTシャツ	232,470
	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市連携事業	5,000,000

2 多摩市ゆかりの選手応援プロジェクト

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への出場を目指す「多摩市ゆかりの選手」を大会開催前から市民に広く周知し、市を挙げて応援していく気運を醸成することで、市民が大会観戦を楽しむだけでなく、オリンピック・パラリンピックをより身近に感じ、自分事として大会を楽しむための土壌を醸成するため本事業を実施。

令和元年度は4選手への取材を行い、たま広報、多摩市公式ホームページで周知を図った。

年度	選手名	種目	決算額（円）
令和元年度	関根斗夢 選手	空手（個人、形）	151,800
	山下杏也加 選手	女子サッカー	
	土田和歌子 選手	女子パラトライアスロン・女子車いすマラソン	
	右代啓祐 選手	陸上男子十種競技	

3 東京2020大会気運醸成及び健康づくり推進事業実施業務委託

「多摩市と国士舘大学との東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組に関する連携協定」に基づき、以下の2事業を実施。

- ① 東京2020パラリンピック1年前イベントとして、「～東京2020パラリンピック開催まであと1年！～トークイベントin TAMA “夢への挑戦”パラリンピアンから学ぶ限界への跳躍」を令和元年9月29日に実施。トークショーとクロストークが行われた。ゲストアスリートには東京2020パラリンピックへの出場を目指す、リオ2016パラリンピック陸上男子走り幅跳びT42銀メダリストの山本篤氏をお招きし、国士舘大学に關係する2人のパラアスリートとともに、障がいの有無にかかわらず、夢を持って諦めない気持ちや、限界へ挑戦することの大切さ、そして、障がいのある人もない人も共に生きやすい社会を作るためには何ができるのかを考える良い機会となった。
また、国内で聖火リレーがスタートする直前のイベントとして「東京2020大会がつなぐトークイベントin TAMA～勝負（メダル）だけじゃない！オリンピックの楽しみ方！～」の開催を令和2年3月21日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく中止とした。
- ② 平成29年8月31日に宝野公園で実施した「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」のレガシーとして、「出張『楽しく！美しい！ラジオ体操教室』」を市内のコミュニティセンターなど9会場（延べ19日間）を巡回し実施した。参加者の多くが目標としていたラジオ体操第1・第2の一つひとつの運動・動作を正しく習得することができた。
また、令和2年2月下旬には、市内マンションへの出張開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく中止とした。

年度	参加人数（人）	決算額（円）			
平成29年度	スポーツ教室→147（市外含む） トップアスリート講演会→615（国士舘学生含む）	1,987,400			
平成30年度	トップアスリート等招いたイベント <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 2em;">}</td> <td>・トークショー→170（市外含む）</td> </tr> <tr> <td>・特別展→318（市外含む）</td> </tr> </table> スポーツ教室→147（市外含む） ラジオ体操教室→254	}	・トークショー→170（市外含む）	・特別展→318（市外含む）	2,819,934
}	・トークショー→170（市外含む）				
	・特別展→318（市外含む）				
令和元年度	トップアスリート等を招いた講演会→151 ラジオ体操教室→548	2,496,527			

4 事前キャンプ誘致交渉等業務委託

各国オリンピック委員会、各国パラリンピック委員会又は各国競技連盟等が実施を検討している東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における事前キャンプを当市へ誘致するため、その交渉等の業務を委託した。

この結果、令和元年8月にアイスランド国立オリンピック・スポーツ協会（以下「ISÍ」という。）、当市、学校法人国士舘の三者間でオリンピック選手団の事前キャンプ実施に関する覚書を、令和2年3月にアイスランド障がい者スポーツ協会（以下「NPCアイスランド」という。）、当市、学校法人国士舘の三者間でパラリンピック選手団の事前キャンプ実施に関する覚書を締結した。また、令和2年2月に台湾バドミントン協会との間で市内のスポーツ施設を大会期間前・期間中、台湾バドミントン（オリンピック代表）チームの強化練習会場として提供することについて合意した。

このほか、令和元年12月には、当市が全国の自治体で初めてアイスランド共和国のホストタウンとして登録された。（ホストタウン第17次登録）

年度	交渉相手	決算額（円）
令和元年度	ISÍ	1,573,000
	NPCアイスランド	
	台湾バドミントン協会	

5 事前キャンプ視察対応業務委託

令和元年8月にアイスランドオリンピック選手団の事前キャンプ実施に関する覚書を締結するために来日していたISI事務総長を筆頭に関係者3人の視察等を受け入れるに際し、輸送にかかる業務一式を委託した。また、同年9月にパラリンピック選手団長会議へ出席するために来日していたNPCアイスランド関係者1人の視察を受け入れるに際しても、輸送にかかる業務一式を委託した。

年度	回数	決算額 (円)
平成29年度	1回目	115,220
	2回目	219,340
平成30年度	1回	389,419
令和元年度	1回目 (ISI)	492,448
	2回目 (NPCアイスランド)	99,352

6 多摩市オリンピック・パラリンピック大学連携協議会

本協議会は市内6大学の学生をはじめ、多くの市民が東京2020オリンピック・パラリンピックに関わり、楽しみ、心に刻み、将来につながる価値のある「レガシー」を創出できるよう、市内6大学及び多摩市が連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運を醸成し、地域の応援体制を整える取組を推進していくことを目的に多摩市と市内6大学との「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組に関する連携協定」を締結し、「多摩市オリンピック・パラリンピック大学連携協議会」（以下「大学連携」という。）を発足して令和元年度は以下の2事業を実施。

- ① 東京2020参画プログラムとして、令和元年7月21日に「自転車競技ロードレース応援イベント～東京2020 開催まであと1年！～」(以下「大学連携イベント」という。)を多摩大学で開催。テストイベント当日にコース沿道での大学連携イベント開催であったため、主にテストイベントを観戦していた方や大学生が来場した。大学連携イベントでは国士舘大学田原教授の「オリンピックを通じて国際交流・国際理解」講演会のほか、パラリンピック競技であるボッチャの体験会、プロ自転車競技団体である「東京ヴェントス」のチームスタッフ指導のもと、ロードバイクのスピード測定体験を行った。
- ② 東京2020参画プログラムとして、令和元年11月23日に「東京2020オリンピックに向けた自転車競技ロードレース応援イベントin TAMA」を桜美林大学多摩アカデミーヒルズで開催。プロ自転車競技団体「Team UKYO」在籍の畑中選手・横塚選手のトークイベントを開催。学生による沖縄エイサーやチャリディングを披露した。また、ロードバイクのスピード測定体験や令和元年8月にオリンピック選手団の事前キャンプ実施に関する覚書を締結したアイスランド共和国の風景写真のパネル展示も行った。

年度	来場者数	決算額 (円)
令和元年度	第1回→126名	4,936,567
	第2回→135名	

7 消耗品関係

東京2020公式オリジナル商品(うちわ・バック型クリアファイル)、オリンピック・パラリンピックエンブレム入り封筒(角2)、事前キャンプ周知用横断幕、アイスランドのホストタウン周知用懸垂幕・横断幕・のぼり旗・ボールペン・ミニのぼり旗セット・ステッカーを購入し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成及びアイスランドの事前キャンプ地およびホストタウンとなったことをPRするために使用した。

項目	決算額 (円)
東京2020公式オリジナル商品 (バック型クリアファイル うちわ)	1,572,112
オリンピック・パラリンピックエンブレム封筒	207,360
懸垂幕(事前キャンプおよびホストタウン周知)	305,658
横断幕(ホストタウン周知)	96,250
のぼり旗・ミニのぼり旗(ホストタウン周知)	252,252
ステッカー(ホストタウン周知)	376,200
ボールペン(ホストタウン周知)	63,800

事業カルテ (元年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-960

スポーツ推進審議会経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法(第4条、第10条、第31条)				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画						
関連する報告書など	-						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に、その後を見据え、スポーツ施策の推進を総合的・計画的に実行していくため、スポーツ推進計画を策定する。スポーツ基本法第31条に基づき、地方スポーツ推進計画やその他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、平成29年度まで設置されていた「多摩市体育施設運営審議会」を発展的改組し、平成30年度より「多摩市スポーツ推進審議会」を設置した。						

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成30年度

事業の目的、 令和元年度の目標	スポーツ基本法第31条に基づき、多摩市の実情に即し、地域の特性を活かしたスポーツ推進計画の策定に向けて審議し、答申を行うとともに、計画を策定する。
予算の執行方法	審議会委員への報酬及びスポーツ推進計画策定支援業務委託料を執行した。
事業の成果	スポーツ推進計画の素案について審議を重ね、パブリックコメントを実施し、答申を得た後、スポーツ推進計画を策定した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	4,649千円	4,107千円		
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	11,790千円	11,402千円		
内 訳	直接 経費	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
		一般財源	0千円	0千円	0千円	4,649千円	4,107千円
		間接 経費	職員人件費	0千円	0千円	0千円	7,141千円
	《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.85人	0.85人	
	その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	審議会開催回数	目標	5回	5回	6回
		結果	5回	5回	-
成果指標 (アウトカム)	体育施設に関する個別施設計画策定に向けた答申を行う。(令和2年度) ※平成30年度、令和元年度はスポーツ推進計画の策定	目標	策定着手	計画策定	答申
		結果	策定着手	計画策定	-

特記事項

-

◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
B	B	B	イ	-

<スポーツ推進審議会経費>

◇執行状況及び成果等

1 スポーツ推進審議会委員の構成 委員数 10人

【選任区分】

- (1) 学識経験者 2人
- (2) スポーツ関係者 3人
- (3) 学校教育関係者 2人
- (4) 障がい者団体関係者又は障がい者スポーツ関係者 1人
- (5) 公募市民 2人

2 スポーツ推進審議会の開催回数と委員報酬

項目 年度	開催回数	報酬額
30	5回	437,000円(会長12,500円、委員10,700円)
元	5回	404,900円(会長12,500円、委員10,700円)

3 スポーツ推進審議会の主な審議・検討・報告内容

項目 年度	主な審議・検討・報告内容
30	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市スポーツ推進計画策定について ・多摩市スポーツ振興補助金について ・総合体育館、体育施設及び多摩東公園(武道館、陸上競技場含む)の包括指定管理者制度導入について ・スポーツ施設の駐車場有料化について ・体育施設使用料改定(案)について
元	・多摩市スポーツ推進計画策定について ~答申

4 多摩市スポーツ推進計画策定支援業務委託

項目 年度	委託金額	主な委託業務内容
30	4,212,000円	市民アンケート、市民ワークショップ等
元	3,702,600円	パブリックコメント、計画書及び概要版作成

事業カルテ (元年度決算)

教育振興課

10-06-02-677 クラブハウス管理運営費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	学校教育法第137条、社会教育法第44条、スポーツ振興法第13条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和53年6月から市立全中学校(現在9校)に設置されたクラブハウスを学習、文化及び軽スポーツ等の活動の場として、学校施設と一体的に開放提供し、多摩市における社会教育の振興を図る。平成26年4月から条例制定により学校開放施設とあわせて有料化を実施した。 必要な経費を精査し、日常の維持管理に努めている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	クラブハウスを市民団体等に開放し、学習・文化及び軽スポーツ等の活動の場として提供し、多摩市における社会教育の振興を図る。 施設保全として、聖ヶ丘中学校校舎大規模改修にあわせてクラブハウスの空調設備の改修を行うほか、諏訪中学校及び青陵中学校クラブハウスの和便器を洋便器に改修する。
予算の執行方法	クラブハウスの維持管理に必要な管理委託及び修繕、光熱水費、燃料費、消耗品等の支出
事業の成果	学校開放団体との情報共有を図るため、学校開放連絡協議会代表者の会議を年2回開催した。 施設の不良箇所を発見し、速やかに補修・修繕を行った。青陵中学校及び諏訪中学校クラブハウスのトイレを洋便器化した。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、2月29日からクラブハウスの使用を停止した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	24,887 千円	17,604 千円	11,002 千円	4,724 千円	5,332 千円	
事業にかかる実コスト	28,633 千円	20,526 千円	14,194 千円	7,447 千円	8,148 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	14,000 千円	8,000 千円	5,600 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	10,887 千円	9,604 千円	5,402 千円	4,724 千円	5,332 千円
	間接経費					
職員人件費	3,746 千円	2,313 千円	2,203 千円	2,100 千円	2,146 千円	
《従事人員数》	0.40 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
その他の人件費	0 千円	609 千円	989 千円	623 千円	670 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	施設の市民開放	目標	9施設	9施設	9施設
		結果	9施設	9施設	—
成果指標 (アウトカム)	使用者延べ人数(クラブハウスのみ。)	目標	71,000人	71,000人	71,000人
		結果	71,974人	58,378人	—

特記事項

—

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源 般		
B	B	B	イ	—

<クラブハウス管理運営費>

◇執行状況及び成果等

クラブハウス管理運営費（令和元年度事業経費 5,331,600円）

- 1 クラブハウス数 9施設
 - ・全中学校に設置

2 クラブハウス使用状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
クラブハウス	件数	5,730	5,591	5,666	5,821	4,958
	人数	71,395	71,083	71,544	71,974	58,378

[備考]

- 1 平成26年度から学校開放（クラブハウス含む。）の有料化を実施
- 2 平成26年度 クラブハウス2箇所の空調設備改修工事实施
 - (1) 東愛宕中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成26年4月1日～平成26年7月11日
 - (2) 諏訪中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成26年4月1日～平成26年7月11日
- 3 平成27年度 クラブハウス3箇所の空調設備改修工事实施
 - (1) 和田中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成27年4月2日～平成27年7月17日
 - (2) 鶴牧中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成27年4月2日～平成27年7月17日
 - (3) 青陵中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成27年4月2日～平成27年7月17日
- 4 平成28年度 クラブハウス2箇所の空調設備改修工事实施
 - (1) 多摩中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成28年4月4日～平成28年7月15日
 - (2) 落合中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成28年4月4日～平成28年7月8日
- 5 平成29年度 クラブハウス1箇所の空調設備改修工事实施
 - (1) 多摩永山中学校クラブハウス空調設備改修工事
工期 平成29年4月7日～平成29年7月18日
- 6 令和元年度 クラブハウス1箇所の空調設備更新（校舎大規模改修工事で実施）
 - (1) 聖ヶ丘中学校クラブハウス空調設備更新
全9施設の空調設備の更新が完了
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日から使用停止

事業カルテ (元年度決算)

スポーツ振興課

10-06-02-683

武道館及び陸上競技場管理運営経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法 第4条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画、第3次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	武道関係及び各種陸上競技関係の中心的体育施設として運営を開始して以来、利用者の利便性向上に努めながら、施設を管理・運営してきた。武道館については、平成17年に天井のアスベスト除去工事及び耐震補強工事等を行った。陸上競技場については、第2種公認施設として運営していたが、施設利用状況から、平成22年度末をもって公認継続中止とした。近年は老朽化した施設の修繕を行いながら、管理運営を行っている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	昭和61年に市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興、普及を図ることを目的に設置。令和元年度は施設を休館・休場して、武道館・陸上競技場の老朽化及びバリアフリー対応のための改修工事を行う。改修後は民間活力の導入を図り、多摩東公園全体の魅力を向上させ、効率的で一体的な管理運営を行うため指定管理者制度を導入する予定であり、最適な指定管理者を決定する。
予算の執行方法	施設の機能改善、老朽化・バリアフリー対応の改修工事を行うための工事費及び工事完了後の運営再開にむけて老朽化した備品更新費用を執行した。また、指定管理者制度を導入するための選定委員会費用を執行した。
事業の成果	改修工事を完了させ、施設の老朽化及びバリアフリー対応を行った。工事費については、東京都及び日本スポーツ振興センターの補助金制度を活用するため、申請書類を提出して確定の通知を受けた。また、令和2年度より指定管理者制度を導入するため、事業者の選定と協定の締結を行った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	47,924 千円	51,617 千円	66,429 千円	89,585 千円	1,097,002 千円	
事業にかかる実コスト	57,009 千円	60,408 千円	78,943 千円	98,406 千円	1,108,159 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	38,000 千円	91,153 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	349,000 千円
	その他特定財源	8,508 千円	8,707 千円	8,512 千円	8,328 千円	392,125 千円
	一般財源	39,416 千円	42,910 千円	57,917 千円	43,257 千円	264,724 千円
	間接経費					
職員人件費	9,085 千円	8,791 千円	12,514 千円	8,821 千円	11,157 千円	
《従事人員数》	0.97 人	0.95 人	1.42 人	1.05 人	1.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	①武道館、陸上競技場の改修工事 ②指定管理者の指定	目標	-	①完了 ②事業者の指定	-
		結果	-	①完了 ②事業者の指定	-
成果指標 (アウトカム)	安全で良好な体育施設の維持・整備 (成果指標の目標設定は困難なため設置していない)	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項

令和元年度は改修工事に伴い、武道館及び陸上競技場は休館・休場した。また、令和2年度以降は、総合体育館及び屋外体育施設、多摩東公園と包括した指定管理者制度導入により、スポーツ施設管理運営費(10-06-02-900)と予算を統合する。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	二 量 的	財一 源 般		
B	A	B	イ	指定管理者を通して、施設の利用サービス向上及び安全で効率的な管理運営を図る。

< 武道館及び陸上競技場管理運営経費 >

◇ 執行状況及び成果等

1 武道館及び陸上競技場管理運営状況

(円)

年 度	利用人数 (延) (人)	経費合計	経 費 内 訳			
			需用費 (消耗品、光熱 水費、修繕料)	役務費 (電話料、火災保 険料)	委託料 ※ 1 (設備機器等保 守点検委託料、 業務委託料)	その他 ※ 2 (報償費、工事請 負費、備品購入費 等)
27	101,018	47,923,649	9,075,917	145,074	35,575,662	3,126,996
28	106,962	51,617,241	10,114,386	134,105	36,463,150	4,905,600
29	100,238	66,429,084	9,132,238	139,963	54,011,887	3,144,996
30	93,321	89,584,270	8,018,395	176,044	79,371,835	2,017,996
元	—	1,097,001,548	2,585,827	98,995	63,517,367	1,030,799,359

※令和元年度は、改修工事のため休館。

※ 1 委託料の内訳

・ 自家用電気工作物保安点検委託料	111,180 円
・ 機械警備業務委託料	213,204 円
・ 芝生地・植込地整備及び管理業務委託料	23,435,000 円
・ 代替施設管理業務委託料	829,865 円
・ 武道館及び陸上競技場用具・事務用品等廃棄処分委託料	3,520,800 円
・ 武道館及び陸上競技場用具・事務用品等移転業務委託料	4,030,275 円
・ 武道館及び陸上競技場改修工事監理業務委託料	31,073,443 円
・ PCB廃棄物等処理・運搬業務委託料	303,600 円

※ 2 その他の内訳

・ 報償費	229,200 円 (指定管理者候補者選定委員会委員謝礼)
・ 工事請負費	527,053,924 円 (武道館・陸上競技場等改修工事)
	97,299,645 円 (武道館・陸上競技場等改修に伴う電気設備工事)
	93,166,658 円 (武道館・陸上競技場等改修に伴う空気調和設備工事)
	93,076,733 円 (武道館・陸上競技場等改修に伴う給排水衛生設備工事)
	211,152,959 円 (陸上競技場グラウンド及び多摩東公園庭球場等改修工事)
	4,939,000 円 (総合体育館等屋外公衆喫煙所設置工事)
・ 備品購入費	3,881,240 円 (武道館・陸上競技場施設備品購入)

2 快汗スポーツDAY参加状況【令和元年10月14日(月・祝)】

(人)

実施場所	内 容	令和元年度
武道館	改修工事のため休館	—
陸上競技場	改修工事のため休館	—
合 計		—